

平成30年度 学校・園経営の重点

【学校教育係】

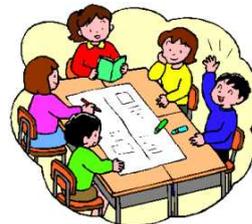
[確かな学力]

①「伸ばしたい資質・能力」を明確にした「考え、表現させる授業」の充実

児童生徒が主体的に課題解決に取り組み、解決まで至るためには様々な条件が必要です。

- 児童生徒の気付きや疑問を引き出して課題を設定する。
- 自分なりの考えをもち、解決に向けて話し合う場が設定されている。
- 指導者が“答え”ではなく“適切な支援・助言”を行う。

学習の主体者に任せる時間や活動を増やすために、伸ばしたい資質・能力を明確にすることから始まる教材研究を一層充実させましょう。



②教員の協働による積極的な授業改善

目指す子ども像の実現に向けて、一人一授業の実践から明確になった具体的な課題を次の授業者が引継ぎ、改善を試みる学校が増えています。今後も、協議の視点の明確化や課題点を中心にした効率的な協議及び、改善に向けた日々の実践を進めるようお願いいたします。

[豊かな心]

①一人一人に居場所がある学級経営の充実

児童生徒に居場所がある学級経営を進める上で、生徒指導の3つの機能「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定」を担当の先生が改めて意識し、集団指導と個別指導を充実させることが重要です。そして、この指導を継続することで、児童生徒がお互いのよさを認め合い、一人一人に居場所がある学級経営の充実をお願いいたします。

②いじめ・不登校の未然防止に向けた組織的な支援体制の充実

各学校で進めている未然防止に向けた支援や取組を改めて校内で見直し・再確認をすることが大切です。学校内での役割分担の明確化とともに対応方針等を共有し、SCやSSW等からの助言を活用するなどして、未然防止・早期解決につなげましょう。

学級経営の留意点

【自己存在感】

- 集団の中で存在感を実感できる
- 集団に貢献できる役割をもてる
- 個性を發揮できる

【共感的な人間関係】

- 他の児童生徒と好ましい人間関係が築ける
- 自己肯定感・自己有用感を培うことができる
- 安心して生活できる

【自己決定】

- 自己決定の機会をもてる
- 自己実現の喜びを味わうことができる
- 達成感・成就感をもつことができる

[健やかな体]

①組織的・計画的な健康づくりの充実

児童生徒がよりよく健康課題に対処するためには、健康に関する知識を習得して家庭や地域と連携しながら実践力を育成する必要があります。各学校の実態に応じて策定した「体力向上プラン」や「学校保健計画」、「食に関する指導の学年別年間指導計画」などの健康づくりに関する計画について全職員で共通理解を図りましょう。また、授業参観や学校保健委員会、様々な情報発信などにより家庭や地域と連携、協働しながら、組織的・計画的な健康づくりを充実させましょう。

②自校の課題に基づいた安全管理・安全指導の充実

児童生徒が安全に学校生活を送るためには、教員自身が危機意識を高め、児童生徒の主体性を意識した安全指導を行うことが大切です。学校安全に関する3領域（生活・交通・災害）の視点で自校の課題を把握・共有し、全職員で組織的な安全管理・安全指導を充実させましょう。



[幼児教育]

①幼児が遊びに没頭できるような環境の構成

幼児一人一人の言動や表情、経験、家庭環境などから、幼児の興味や関心について理解し、その時期にその幼児にどのような育ちを期待したいか、そのために必要な経験は何かを考え、その経験が可能となるような環境の構成をお願いします。その際、遊具や素材の種類や配置などを工夫し、遊びに没頭できるような環境の構成を具体的に考えてください。さらに、幼児の様子から遊びが広がったり、深まったりするような環境の再構成について見通しをもっておくようお願いいたします。

